

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 30 号	氏名	草場隆史
学位審査委員	主 査 田口 尚 副 査 下川 功 副 査 兼松隆司		
論文審査の結果の要旨			
1. 研究目的の評価 本研究は大腸腫瘍組織における活性型の Signal transducer and activator of transcription (STAT) 3 の発現を検索し、腫瘍組織の悪性度や浸潤の強さなどの臨床的意義の強い病理学的指標との関連を明らかにしようとしたものであり、研究の目的は妥当である。			
2. 研究手法に関する評価 ヒト大腸腫瘍症例 139 例（腺癌 44 例、腺腫 95 例）を対象とし、p-STAT3 の免疫組織化学的発現を臨床病理学的な指標（組織型、深達度、リンパ節転移、脈管侵襲）との関連において検討した。また、Western blot 法にても p-STAT3 の発現を検討したものであり、その研究手法は妥当である。			
3. 解析考察の評価 上記手法で解析した結果、ヒト大腸癌においては浸潤が強いほど STAT3 の活性化が強いことを示した。さらに、静脈侵襲やリンパ節転移とも相関のあることを明らかにし、STAT3 の活性化がヒト大腸癌の進展や転移における重要な因子となることを示唆しており、解析や考察も高く評価できる。			
以上のように本論文は大腸癌の進展機序の解明に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			